

音響・振動基礎セミナー

音でプロダクト・空間を価値化する

特別講演

概要

音の基礎、音質評価技術から、製品のサウンドデザインまでの広い範囲の音の知識が得られます。また、豊富な事例とサウンドのサンプルを聴いて確認して頂くことができるので、具体的な問題解決やデザインアプローチの実践方法を知ることができます。また、社会や文化の中での音の価値についても新たな気づきが得られ、製品開発などの実践にも有用な背景知識が得られます。

2017年 11月10日 **金** 13:00-17:00

場 所	株式会社 小野測器 本社・ソフトウェア開発センター 9階 講演室 神奈川県横浜市港北区新横浜 3-9-3
定 員	50名
参加費	無 料
ご持参いただくもの	名刺、筆記用具

◆対象者◆

- ・工業製品（自動車、機械、OA機器、IT機器）の企画・設計・開発デザイナー/エンジニア
- ・音関係のデザイナー/エンジニア（騒音制御、音響設計）
- ・建築・都市環境のデザイナー/エンジニア
- ・特に予備知識は必要ありません
- ・広い対象において音による価値化を模索している人、音に興味のある人が望ましいです。

◆セミナーのポイント◆

音は、サインエンスから、エンジニアリング、デザイン、アートまで、幅広い領域で大変重要な役割を果たしています。しかし、あまりに身近にありすぎるために、音の価値に気づく機会が非日常化（コンサートホールや高級オーディオなど）しています。

逆に音の問題は「騒音」としてネガティブに捉えられます。過去数十年、工業化と並行して表出した甚大な騒音問題は、技術進化により対策され、日本では、幹線道路周辺の一部の地域を除けば、静かな環境が実現できています。また、EVなど駆動源が機械から電気が変わるといった劇的な変化に限らず、電気製品やOA機器等も大変静かになりプロダクトの静音化も進みました。

では、音で製品や空間を差異化し、価値づけることはできないのでしょうか。

本セミナーでは、音の価値を再認識することで、皆さまが対象としているプロダクトや空間、環境の音の現状を、騒音低減ではなく音質改善という観点から価値化することを学びます。

そのためには、まず、音の基礎や音質評価を概念的に理解した上で、対象の音を、望ましい環境で正確に測り、実際に音を聞いて評価し、計測したデータを評価した音と対比できるような形に解析することが求められます。これら一連のプロセスを紹介することと、みなさまの会社がつくるプロダクトや環境の音のデザインにヒントになるお話しができればと思います。

お問い合わせ

株式会社 小野測器 セミナー統括グループ

笹本（ササモト）／水村（ミヅムラ）

TEL：045-476-9711

FAX：045-470-7243